

### ■ 747-8のコクピット

747-8のコクピットは基本的には747-400と同じだ。無線のコントロールパネルが新しくなっているのが目立つが、これは自動車であればカーラジオが新しくなったという程度の違いで、基本的な操作方法は同じになるようにしている。

### ■ 航法ディスプレイ

747-400と747-8の初飛行には22年もの差があり、よく似たコクピットにもその間の技術の進歩が反映されて中身はまったくの別物となっている。その象徴が電子チェックリストということになるが、さらにND(航法ディスプレイ)には垂直状況や空港内のマップなどを表示できるようになっている。



747-8では機体重量や運航重量の増加に対応してランディングギアが強化されているが、その高さやタイヤの数などには変更がない。当然、キャビン床の高さなども変わらないので、ボーディングブリッジや貨物用ハイリフトローダー車など地上支援車両はそのまま使うことができる。

また747共通の仕様として、ノーズギアだけでなく最後部のボディギアにもステアリング機構が備えられており、地上での旋回半径を小さくしている。

## コクピット

### 共通性を強く意識したレイアウト

747-8のコクピットは、一見したところ747-400と見分けがつかないほどよく似ている。これはパイロットの資格を共通化するため、レイアウトだけでなく基本的な操作手順も共通化されている。ただし内容的には一新されており、最新の管制システムや航法システムにも対応している。またディスプレイ表示にも、たとえば従来は水平面の状況だけを